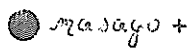


地域自治組織
ときめきの里 真砂 設立 (H28年度)



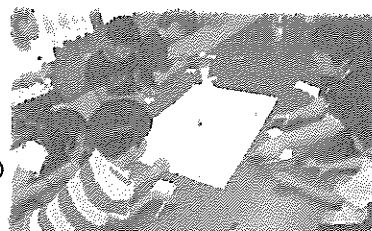
誰もが「住んでいてよかった」と実感できる里山づくり



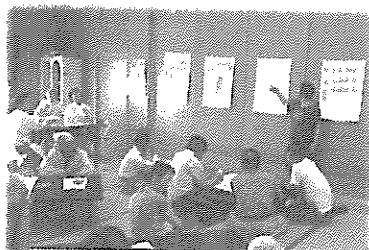
37

設立に向けて

- ・全住民にアンケートを実施 (中学生以上)
- ・5地区でワークショップを開催 (小学生以上)
- ・5地区で説明会を開催



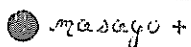
ワークショップで子どもたちも参加発言



5地区でワークショップ&説明会開催



設立委員会



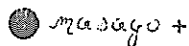
38

設立目的

- 自分たちの住む地域をより良いものに
- 住民自ら地域の課題、目指すべき方向を共有
- 誰もが「住んでいてよかった」と実感できる里山づくり

まちづくりプラン

設立目的を実践するために、
立場や世代、性別を超えて
魅力ある住みよい真砂をつくる活動に取り組む
 基本となる指針とする

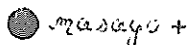
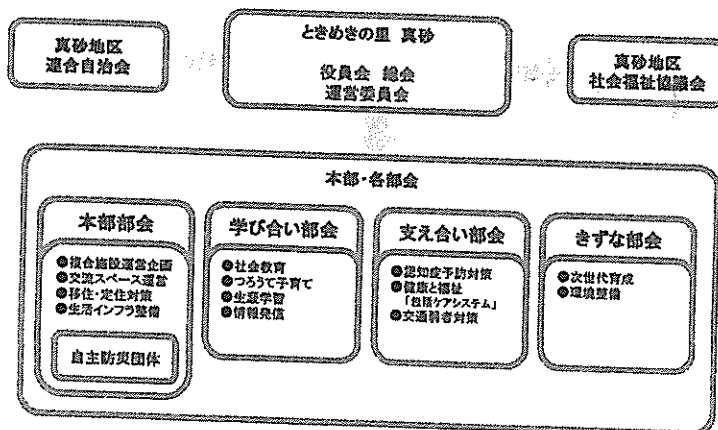


地域づくり協議会 真砂地区協議会

38

組織体系図 (2021年現在)

まちづくり活動計画:「食・農・福祉の小さな経済循環」を目指して



40

実施事業 (2021年現在)

①地域イベント開催

- きくら祭・大運動会・まるごとフェスタ・敬老会
(イベント実行委員会として参画)
- ふれあいバス(買い物バス)運営支援(地区内法人に委託)

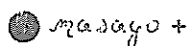
②自主防災団体運営

- 本部活動・・・暗い夜道を明るくする事業・各班活動(全5班)

③各部会活動

- 本部：交流・移住・定住に関すること(交流スペース運営管理など)
- 支えあい部会：健康と福祉に関すること(認知症予防カフェ運営など)
- 学び合い部会：社会教育・生涯教育に関すること(複合施設関係イベントなど)
- きずな部会：次世代育成に関すること(多世代交流イベントなど)

④複合施設に関する協議



41

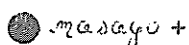
課題 ～令和ver.～

1. 地域づくりの担い手不足

- ・ 出番の多かった現役高齢者の引退
- ・ 若者が育たない(母数が少ないことからの重荷)
- ・ コロナ禍による関係人口の減少

2. 移住希望者を受け入れる空き家が^{ゼロ}軒

3. 交通弱者対策(法律が足かせに)

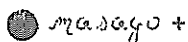


42

複合施設建設について

— 益田東中へ統合 —

1. 令和3年3月に真砂中学校が統廃合
2. 真砂中学校跡地に真砂小学校を含む複合施設の建設決定
建設にあたって小中学校耐震協議会で全住民アンケートを実施し、真砂の総意として自治組織名で市に提案書を提出（令和2年7月）→承認
3. 複合施設入居団体
 - ・真砂小学校
 - ・公民館
 - ・診療所
 - ・自治組織事務所
 - ・自主防災拠点・消防団拠点
 - ・真砂保育園・高齢者機能
 - ・農業公園 — 500㎡ —
4. 令和4年12月竣工予定



地域づくりのつぎのステップ

43

今後の活動方針

複合施設を通して、

自分たちが楽しく真砂で暮らし続けるために

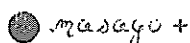
ひとりひとりが何ができるか？ 何をしたいか？

を考え・行動する機会を創出し続ける

POINT

- ① 好きなこと、得意なことで楽しくできる活動＝楽しくないと続かない
- ② 普段の生活の延長線上でできること＝重荷にさせない
- ③ 保育園・小学校の存続＝とくに保育園はコミュニティ維持の要

受入れ住居問題の解決に全力を注ぐ



44

----- 自動車の動線

- - - - 歩行者の動線

